

令和4年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

北鳴中学校	重点課題推進校	教科一般・学習評価の充実
-------	---------	--------------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 学習の見通しを持たせる活動の工夫

導入段階において、学習の流れが分かるように可視化することで、見通しを持ちながら学習を進めることができるようにする。



(2) 重点2 まとめ、振り返りをする活動の工夫

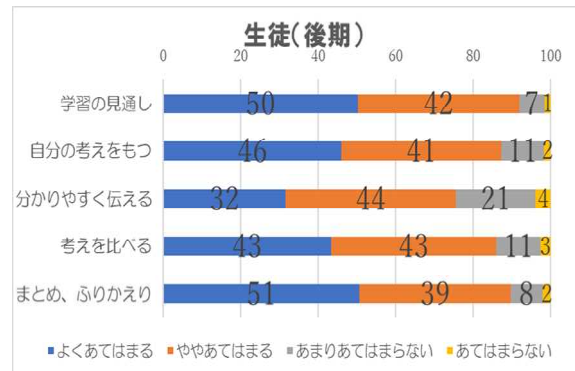
まとめの課題において、ワークシートや端末を活用したりして、自己の変容を自覚できるようにすることで、次時への意欲を喚起できるようにする。

2 取組の検証

(1) 授業に関する生徒アンケート結果

①「学習の見通しをもって、授業を受けることができましたか」の肯定的回答は92%であった。

②「まとめ・振り返りでわかった・できたことや課題を書くことができましたか」の肯定的回答は90%であった。



3 成果と課題

(1) 成果

約9割の生徒が、学習の見通しをもって授業に取り組んだり、まとめ・振り返りでわかった・できたことや課題を書くことができるようになったと肯定的に捉えている。

(2) 課題

①自分の考えを友達に分かりやすく伝えたり、考えを比べたりするなどのA評価が4割に満たない。表現活動や協働学習に関する場面において、これらの力を効果的に育てるための仕掛け・支援が必要であると考えます。

②生徒がより主体的に学習に取り組むことができるような学習活動や課題設定など、金沢型学習スタイルの授業展開の中で、どの部分を生徒に委ねるのかを模索していくことが重要である。